

PRESS RELEASE

2011年10月3日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、自社開発のルータ製品とリモートアクセスソリューションの VPN 機能を強化

--VPN プロトコル「SSTP」に対応し、従来よりも簡単に安全な VPN 接続を実現--

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、自社開発のルータ製品およびリモートアクセスソリューションにおいて、VPN プロトコル「SSTP(Secure Socket Tunneling Protocol)」を新たに実装し、VPN 機能を強化します。

今回 SSTP を実装するのは、以下の製品およびソリューションです。

- 独自開発ルータ「SEIL」シリーズ (SEIL/X1、SEIL/X2、SEIL/B1、SEIL/x86)
- リモートアクセスソリューション「IIJ セキュアリモートアクセス」

SSTP は、Windows Vista SP1 以降に標準で搭載されている SSL を利用した VPN プロトコルです。Windows 標準の仮想ダイヤルアップ接続機能を利用することで、場所を選ばずに簡単に安全なリモートアクセスを行うことができます。SSTP の特徴は以下のとおりです。

- クライアント側の接続環境を問わず、どこからでも社内にもリモートアクセスが可能
現在 VPN プロトコルとして主流の PPTP や L2TP/IPsec を使ってリモートアクセスを行う場合、ルータなどで NAT されたネットワーク内で複数 PC から同時に VPN 接続ができないなど、いくつかの課題がありました。しかし、SSTP を利用することで従来のインターネット接続環境に加えて、ホテル、無線 LAN スポットなどの NAT された環境や、プロキシサーバを経由してインターネット接続を行う環境からでも、確実に VPN 接続を行うことができます。
- 既存のネットワーク設定を変更することなく利用可能
従来、VPN 専用プロトコルを利用する場合は、ルータやファイアウォールなどのネットワーク機器に対して VPN プロトコルを通過させるための設定変更が必要でした。しかし、SSTP は TLS/SSL を利用した HTTPS ポートを使用して VPN を行うため、ネットワーク機器の設定変更を行う必要がなく、手軽に SSTP を使ったリモートアクセスを導入することができます。
- クライアント PC の設定が簡単
PPTP、L2TP/IPsec などと同様に、Windows 標準の仮想ダイヤルアップ機能を利用して SSTP を使った VPN 接続を行うため、クライアント PC に新たにソフトウェアをインストールする必要がなく、簡単な設定だけでリモートアクセスを行うことができます。また、VPN 接続の種類をあらかじめ自動に設定しておくことで、簡単に PPTP から SSTP へ移行することができます。

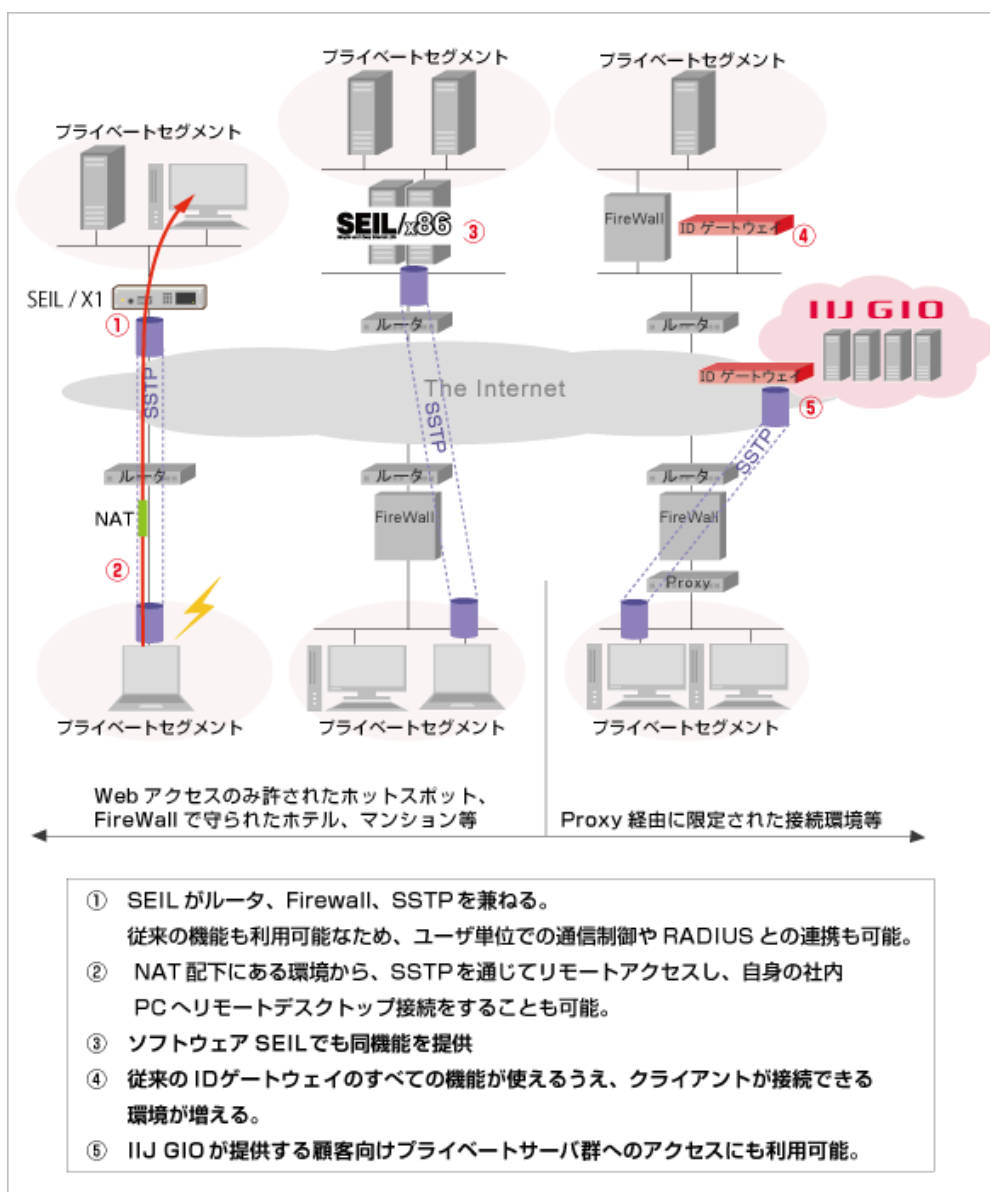
SSTP は Windows PC や Windows サーバ以外、まだほとんどの製品に実装されておらず、今回日本で初めて、ルータ製品とリモートアクセス専用機器に実装されます。SEIL シリーズは本日提供開始のファームウェアのバー

ジョンより、SSTP が新たに実装されます。独自開発のネットワークサービス・マネージメントソリューション「IIJ SMF sx サービス」を利用すれば、すでに運用開始している SEIL に対しても、リモートから簡単に SSTP を設定することができます。IIJ セキュアリモートアクセスは 2011 年 10 月 28 日から、追加料金なく SSTP に対応を開始します。従来からある端末認証機能などをあわせて利用することで、よりセキュアなリモートアクセスを実現できます。

IIJ では、お客様のセキュアなネットワーク環境構築のために、新サービスや新機能を積極的に開発、導入してまいります。

(※) SSTP の利用には別途 SSL 証明書が必要です。

■利用イメージ図



報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 富永、竹田

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>